

## 国分寺市の文化財 からくさしじゅうもんどうぶた 唐草四獣文銅蓋

○東京都指定有形文化財（考古資料）  
○所在地：西元町一丁目 13-10 武蔵国分寺跡資料館

この銅蓋は、武蔵国分寺の寺院地内の鍛冶工房と思われる竪穴住居跡から、出土しました。もとは鏡あるいは加盤などの蓋と考えられますが、出土したのはこの蓋だけでした。出土した竪穴住居は火災により焼失した住居で、この蓋も火熱により一部が溶けて歪んでいます。口径は16cmです。保存処理の過程で線刻文様があることがわかりました。その文様は鈕の内側に連珠文と四葉文があり、鈕の外周には四単位の獣形文と唐草文がめぐらされ、獣形文と唐草文付近には魚々子（小さな粒を刻んだ細工）が施されていました。このような奈良時代の銅製品は法隆寺や東大寺の正倉院などに残されています。文様の類似した製品は正倉院所蔵の佐波理蓋第二号のみで、文様が共通している点から、朝鮮半島で製作された可能性も指摘されています。こうした製品の地方伝播を考えるうえで貴重なものです。



問合せ ふるさと文化財課 ☎ (042) 300-0073

## 学ぶ・つながる ～公民館事業紹介～

### 恋ヶ窪公民館 歴史講演会「明治150年」を考える 「文明開化」と多摩の民衆 ～失われた生活文化～

国分寺市教育7DAYSの一環として実施したこの講演会では、「明治150年」「東京150年」に関連し、変革の中での生活や文化の変化に焦点を当て、地域と庶民の視点から「明治維新」「文明開化」について考えました。講師は、多摩地域における近代史、特に民衆の生活文化や自由民権運動に関する専門家である一橋大学の石居人哉さんです。教科書では語られない庶民の風俗や習慣、信仰、仕事、家庭生活などについて具体例を挙げ、多摩地域に残る史料・資料をもとに、「文明開化」の流れや統制と、民衆の反応や抵抗のようすについて解説いただきました。



特に、生活規範を定めた「違式条例（明治6年）」の絵解き（図解）の史料や、地域の教育の場で使われた絵図には参加者も強い関心を示していました。参加者からは、「学校で習ったのは文明開化の象徴的なことに関する知識でしたが、何を意図していたのが今回の講座でよくわかった。またもっと深く学べる機会が欲しい」「歴史の大きな流れの中で、地域はどうだったのかがわかった」などの感想が寄せられました。

問合せ 恋ヶ窪公民館 ☎ (042) 324-1926

### 光公民館 地域還元講座「数学が好きになる夏」

本講座は、「ぶんゼミ」というグループが企画した4回連続講座です。「ぶんゼミ」は、市内の公民館を幼いころから利用し、光公民館のライブ事業にも参加している大学生が中心となって活動しているグループです。

公民館を普段利用することが少ない高校生を対象とした講座ということもあり、参加者が集まるか心配しましたが、グループのメンバーによる宣伝も功を奏し、定員を上回る申込みがありました。



1回目は、他の科目も含めた個別勉強会に加え、グループから高校生活の過ごし方などについてのアドバイスもありました。2回目以降は、「二次関数の不思議」「三角関数の不思議」「ベクトルの不思議」について、学校の数学の授業ではあまり触れられない内容なども学ぶことができました。



高校生にとっては、先輩である大学生から学ぶことができ、貴重な機会になったようです。また、高校生活の悩みや心配について聞くことができ、多くの参加者から満足の声をいただきました。

問合せ 光公民館 ☎ (042) 576-3991

## 武蔵国分寺の金堂基壇整備が完了しました！

国史跡武蔵国分寺跡では、僧寺の伽藍中核部を対象として、平成23～30年度の8ヶ年をかけて、金堂・講堂・鐘楼・中門といったお寺を構成していた主要な遺構の整備を行っています。今年度は、金堂の基壇復元と金堂・講堂間を通っていた礎石・瓦敷の通路、講堂の南側に聳える幢竿遺構を復元して、一連の工事を終えました。



〈金堂基壇〉



〈堂間通路〉

金堂はお寺の要となる施設で、仏様が安置されていた建物です。平成22年に行った発掘調査で、石積みによって

基壇が築かれ、基壇の四周には幅1mの雨落石敷（屋根から滴り落ちてくる雨で、建物の外周が濡まないように敷いた石列）が巡っていた様子が判明しました。また、本来は36石あった礎石のうち現存していた19石は、ほぼ創建当初の奈良時代のまま動いていないことも判りました。

基壇上は、塼と呼ぶ茶色や灰色の古代のレンガが敷かれ、基壇中央には須弥壇という釈迦如来像が鎮座した台座があり、荘厳な建物であったことが偲べれます。

今から1,300年も昔に、埼玉県・東京都・神奈川県（川崎市・横浜市の一部）にも及ぶ広大な武蔵国の中心地が、現在の府中・国分寺市に置かれ、出土した瓦などの遺物から、国分寺は国内各地の多くの人々を動員して造営されたことが判っています。

ぜひ、史跡地に立って、往時の壮大な伽藍が広がっていた光景を感じてください。

問合せ ふるさと文化財課 ☎ (042) 300-0073

## 教育委員会の動き



平成30年9月から平成30年12月まで定例会を4回、臨時会を1回開催しました。市のホームページに、定例会等の議事録や開催日程などを掲載しておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。

議案を一件ご紹介します！

〈国分寺市図書館運営協議会委員の委嘱について〉

市立図書館の運営に広く市民の意見を反映するために設置している図書館運営協議会の委員を委嘱しました。任期は2年間です。



その他の主な議案は以下のとおりです

- ・国分寺市教育委員会臨時職員の任用に関する規程の一部を改正する訓令について
- ・（仮称）第2次国分寺市教育ビジョン検討委員会設置規程の制定について

〈今後の定例会開催日程（予定）〉

会場はひかりプラザ5階教育資料室です。

2月26日（火）午前9時30分～、3月22日（金）午後1時30分～、4月25日（木）午前9時30分～、5月28日（火）午前9時30分～

※こちらに記載している日程は、2月1日現在のものになります。

以後、変更になる場合がありますので、最新の情報はホームページでご確認ください。



※傍聴を希望される方は、当日直接会場までお越しください。申込みは不要です。なお、上記日程以外に必要に応じて臨時会を開催することがあります。

問合せ 教育総務課 ☎ (042) 574-4040